



## 橋梁の長寿命化に向けて

# “技術の創出・普及・継承” 青い森の橋ネットワーク勉強会を開催

9月2日(金)アピオあおもり(青森市)において、『青い森の橋ネットワーク』(以下『青森橋ネット』)による勉強会が開催され、約100名が参加しました。

『青森橋ネット』は青森県県土整備部道路課、(財)青森県建設技術センター、一般企業個人、八戸工業大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校、青森河川国道事務所等で構成されており、県内の橋梁の長寿命化について関心をもつ学識経験者並びに技術者が、橋梁に係わる知識を深め、地域としての個性・特色及び地域のニーズを踏まえた調査研究による技術の創出、橋に関する学術的知見の提供、技術の普及・継承と人材育成を通じて、『良質な橋梁インフラの維持』と『市民の安全・安心な暮らしを支え、地域社会の持続可能な発展に貢献』することを目的に意見交換・交流、技術の普及・継承や人材育成、情報発信などの活動を行っています。

(代表：八戸工業大学 長谷川明 教授(同大学学長)、幹事長：同大学 阿波稔 教授)



▲ 勉強会 の 様子 ▲

勉強会では、当事務所の小滝建設監督官から「建設工事の品質確保の取組み」と題した話題や、『青森橋ネット』を構成する各機関より「橋梁長寿命化についての最近の国・県の動向」「表面含浸材の効果」「コンクリートの養成技術と品質」「コンクリートサステナビリティにおけるフライアッシュの可能性」について、また、『青森橋ネット』の幹事長である八戸工業大学の阿波教授より、「内閣府SIP事業「東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開」についての話題が紹介がされました。



▲当事務所小滝建設監督官による話題提供の様子▲